



## 河川管理のお仕事 「洪水に備える点検訓練『排水機場編』」

皆さん、はじめまして

この現場レポートでは、皆さんに河川管理の仕事の内容や河川の自然などをお伝えし、より河川に親しんで頂きたいと考え、発信していくものです。よろしくお願いいたします。

さて、河川管理の仕事と言っても、大きくは『異常時（洪水、地震など）』と『平常時』があり、洪水時では大きく変化する河川水位の情報発信、堤防などの警戒巡視などがあります。また、平常時では、堤防を作ったりそれらの巡視点検維持するなどの仕事です。

それらの仕事の内容や、河川の自然など分かり易くお伝えできればと考えております。

今回は、「洪水に備える点検訓練『排水機場編』」です。

排水機場は、大雨により北上川の水位が高くなって、支川などから排水できなくなったときに、ポンプで強制的に北上川へ排水して市街地の浸水被害を軽減する施設です。昨年は、大きな洪水がなかったのですが、いざというときに動かすことができるように点検と訓練を行いました。

当事務所の管理区間内には、6カ所の排水機場があります。今回は花巻市にあります『後川排水機場』の点検訓練を紹介します。

排水機場の大きな構成は、発電機（ポンプへの電気の供給）、制御盤（ポンプのスイッチ）、ポンプです。排水作業は、周辺地域が停電になっても確実に運転できるように、商用電力とは別に発電機電力で運転するようになっています。

また、後川の排水機場は、1秒間に1m<sup>3</sup>を排水できるポンプが10台あり、合計10m<sup>3</sup>/秒の排水できる能力があります。

今回の点検訓練は、各機械が正常に作動するか、手順を確認しながらの実技訓練です。

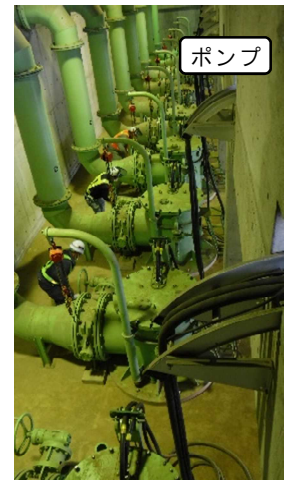
洪水発生時には、確実に効果が発揮できるように各自治体とも連携し、安全安心を確実に確保できるようにしていきます。



後川排水機場の外観



発電機



ポンプ



制御盤



ポンプ吸水槽（神殿のようです）



ポンプ運転中は、赤回転灯が付きます。



後川（訓練のため水を貯めています。）

### 【編集後記】

紙面の構成は、まだ未熟なところが多いと思います。発刊のたびに見やすく、わかり易くなるよう頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 河川管理課

〒020-0066 岩手県盛岡市上田4丁目2-2

代表019-624-3131 直通019-624-3281 FAX019-624-3276